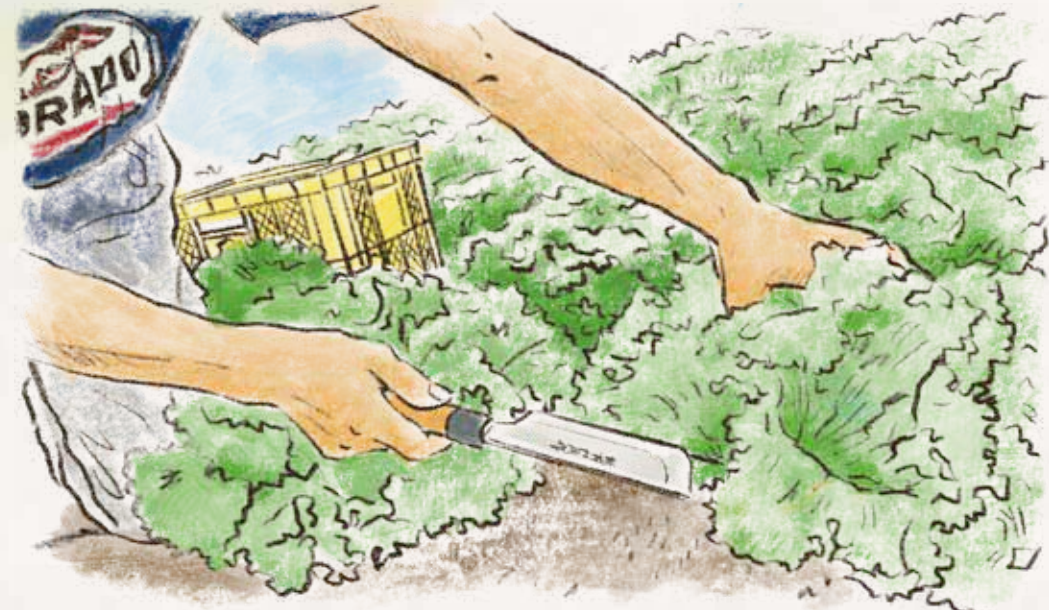


農業人生をとともに歩む

『野菜収穫包丁』



カリフリ農場 占冠村
えとう けんいちろう
江頭 謙一郎さん

農業大学時代からの 愛用品と意外な再会

今から約25年前に埼玉県から移住し、占冠村で新規就農。今は葉物やブロッコリー、ズッキーニなどの少量多品目の野菜の栽培と、山羊や豚、鶏などの家畜を飼育しています。この野菜収穫包丁は、長野県の農業大学に通っていた時に支給されたもの。刃を研ぎながら30年近く使っているかな。北海道に移住してからも愛用していましたが、農作業中に腰の鞘から落ちて失くしちゃったんです。似たものをお店で買ったものの、力が伝わらず切れ味も半減。それから7、8年経ったある日、意外なことに鶏小屋から出てきました(笑)。幸い刻印を読むことができ、製作者は福井県の加茂さんという鍛冶職人であることが判明。さっそく連絡を取ると「すぐに研いであげると、新品同様に仕上げてもらいました。それ以来親交が続き、農場にも足を運んでくれて、妻、息子、娘の野菜収穫包丁もつくってもらっています。

実習先での出会いから 農家の道へ

実は農業大学に入学した当初は、農家になるのはハードルが高いと思っていました。周りは跡継ぎの子が大半だし、機械や土地の購入には大きな投資が必要だし……。でも、埼玉県の有機農家での実習で考えが変わったんです。ここでは、まず自分たちが食べるための作物を育て、余裕がきたら地域の方へと売ると、という身の丈の農業で徐々に規模を広げていきました。農業が一気に身近に感じ、自分も農家になれるんだって思いましたよ。育てる作物を一つに絞るのではなく小さな柱を何本も立てれば、例えばズッキーニがカバーしてくれ、というようにリスク回避ができます。そんな風に農業を続けてきてもうすぐ30年。「後を継いでほしい」と一言も言っていないのに、長男は戻ってきて、長女も大学卒業後に戻ってくる予定です。家族それぞれがマイ野菜収穫包丁を持って、一緒に農業をするのが今から楽しみです。

牛乳チャレンジ2.0 ~乳スタイル~



北海道の酪農は、重要な基幹産業のひとつで、牛乳乳製品の原料となっている「生乳」の生産量は、全国の50%以上を占めています。

また、都府県で不足する生乳は北海道から運んでおり、例年は学校給食が再開する9月に飲用牛乳の最需要期を迎えます。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大による、全国的な緊急事態宣言などで飲用需要が大きく減少したため、乳業メーカーでは保存が利くバターやチーズなどを多く製造していますが、昨年度からの業務用需要の減少でバターなどの在庫が増加しています。こうした消費の低迷は生乳生産への影響が懸念されますが、生乳の生産を急に減らすことはできないので、酪農家も不安を抱えています。

今回、道産牛乳乳製品の消費拡大に向け、企業や消費者と一緒に「牛乳チャレンジ2.0~乳(New)スタイル~」と題し、昨年反響があった知事とのコラボ動画の第2弾を11月にホームページで公開しますので、食品と道産牛乳乳製品を組み合わせた乳(New)スタイルで、北海道の酪農家を応援してください！

※牛乳チャレンジ2.0の詳細は、右記QRコード参照
お問い合わせ 農政部畜産振興課 TEL.011-204-5438

安全・安心! YES!clean (イエス!クリーン)

YES!cleanは北海道独自の表示制度で、たい肥などによる健康的な土づくりを行い、化学肥料や化学合成農薬の使用を減らす厳しい基準をクリアした農産物だけが表示できるマークは生産者の自信の証です。



YES!clean農産物は、スーパーマーケットなどで販売していますので、ぜひお買い上げください！

詳しくは、YES!clean 検索
※右記QRコード参照

お問い合わせ ●農政部食品政策課 TEL.011-204-5431
●北海道クリーン農業推進協議会 (事務局:JA北海道中央会) TEL.011-232-6411

北海道からのお知らせ

ごはんも日本酒も北海道米!



北海道が事務局を務める「北海道米食率向上戦略会議」では、おいしい北海道米をより多くの皆様に食べていただくため、道内のコンビニやスーパー、百貨店や飲食店等と連携した北海道米のプロモーションを行っています。

今年度のテーマは「食べらさる」! 美味しくて、つつい食が進んでしまう北海道米のおいしさを北海道の方言

「~さる」を使い「食べらさる」と表現しています。TEAM NACS森崎リーダーのイラストが描かれた「食べらさるマーク」を見かけたら、ぜひお試しください!

また、お米が原料の日本酒も、北海道では新しい酒蔵が誕生し、注目を集めていることをご存じでしょうか。優れた品質から、道産の酒米を使用する酒蔵が増えている一方で、日本酒の消費量は、新型コロナウイルスの影響を受け、大きく減少しています。北海道酒造組合のHPでは、各蔵の紹介や消費拡大を図るためのキャンペーンなど随時公開していますので、ぜひ応援してください。

※北海道酒造組合HPは、右記QRコード参照

詳しくは、

北海道米プロモーション 検索

北海道の酒ポータルサイト 検索



北海道の酒 HOKKAIDO SAKE

お問い合わせ 農政部畜産振興課 TEL.011-204-5435

2021ホッカイドウ競馬は11月4日まで開催 ~今年もJBC2歳優駿に注目!

「ホッカイドウ競馬」は4月から11月まで日高・門別競馬場でグランシャリオナイターを開催しています。11月3日(祝・水)にはダート競馬の祭典「JBC」の2歳優駿競走を門別競馬場で実施、翌11月4日(木)にフィナーレを迎えます。ホッカイドウ競馬が閉幕した後も、門別競馬場と場外発売所Aiba(アイバ)では、引き続き、他の地方競馬やJRAの勝馬投票券を発売(なんと年末年始も無休!)していますので、こちらもぜひご利用ください。



詳しくは、ホッカイドウ競馬 検索

※右記QRコード参照

お問い合わせ ●農政部競馬事業室 TEL.011-204-5377

●(一社)北海道軽種馬振興公社 TEL.01456-2-2501



次号の「コンファ春号」を 無料でお届けします

次号(2022年春号)は2月頃に発行する予定です。送付を希望される方は、右の綴じ込みハガキに必要事項を記入し、ご感想などを添えて投函してください。WEBアンケートやメール、電話、FAXでも受け付けていますので、「コンファ2022年春号希望」と明記のうえ、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記載し、下の宛先までお申し込みください。

〒060-8588 北海道農政部農政課政策調整係(住所の記入不要)
TEL 011-231-4111(内線27-126) FAX 011-232-4126 Eメール nosei.noki2@pref.hokkaido.lg.jp

編集後記

今号は「北海道農業を支える、最新技術。」として、様々な農業現場で導入が進んでいるスマート農業について特集しました。スマート農業技術は、今回紹介した以外にも、様々な農業現場で普及しはじめており、人手不足問題や高品質な農畜産物の生産に役立てられています。コロナ禍において、地域間の往来が制限され、交流する機会も減っている中ですが、「都市と農村をつなぐ架け橋」として、今後も皆さまへ北海道農業・農村の魅力をお届けして参ります。